

(陳受R2第3号) 令和3年度 理科教育設備整備費等補助金予算増額計上についてのお願い	
受理年月日	令和2年9月14日
陳情者	公益社団法人 日本理科教育振興協会 会長 大久保 昇
陳 情 の 要 旨	
<p>小・中・高等学校において、新学習指導要領が告知されていますが、小・中学校においては、学生指導要領の中で【環境整備に十分配慮すること】という一文が加えられています。</p> <p>当協会においては、小中高等学校の理科教育環境はまだまだ十分とは言えず、観察・実験の実践には設備器具や、薬品、消耗材料の不足、実験準備・後片付けに時間を要するなど現場の教師に係る負担が多いなどの指摘がある中、学校現場で最も困っていることとして8年連続で観察・実験機器の不足が挙げられています。</p> <p>小・中・高等学校の観察、実験機器の整備拡充のための予算である理科教育設備整備費等補助金事業は、補助を受ける自治体が総事業費の半分を負担する必要があるため、この補助金事業を積極的に活用し、観察、実験機器の充実を図っている自治体とそうでない自治体との格差も生じています。</p> <p>ついては、理科教育環境向上のため、下記の事項にご配慮賜りたく要望いたします。</p> <ul style="list-style-type: none">・令和3年度 理科教育設備予算の計上をお願いいたします。・観察実験に伴う消耗品について十分な予算措置をお願いいたします。・理科観察実験が十分に行える場所の確保にもご留意ください。・実験支援員の配置にも充分なご留意をお願いします。	

